

E T F バランス・ ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2019年8月27日から2020年8月26日まで)

第 7 期

決算日 2020年8月26日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2013年8月28日から2028年8月28日まで
運用方針	上場投資信託証券（E T F）等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	上場投資信託証券（E T F）等
当ファンドの運用方法	<p>■主として、上場投資信託証券（E T F）等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>■運用にあたっては、市場のリスク選好状況を定量的に捉え、機動的な資産配分を行います。</p> <p>■債券部分は、原則として米ドル売り円買いの為替ヘッジを行います。</p>
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>■年1回（原則として毎年8月26日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。</p> <p>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは上場投資信託証券（E T F）等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 証 比	資 券 組	託 入 率	純 資 産
		税 分	配 込 金	期 騰 落 中 率				
	円		円			%	百万円	
3 期(2016年 8 月26日)	11,166		0			98.3	435	
4 期(2017年 8 月28日)	11,782		0			96.1	616	
5 期(2018年 8 月27日)	11,187		0			99.2	974	
6 期(2019年 8 月26日)	11,487		0			97.6	976	
7 期(2020年 8 月26日)	11,798		0			98.5	850	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 比	資 券 組	託 入 率
		騰 落	率			
(期 首) 2019年 8 月26日	円		%			%
8 月末	11,487		—			97.6
9 月末	11,579		0.8			98.6
10 月末	11,537		0.4			99.3
11 月末	11,610		1.1			100.4
12 月末	11,629		1.2			99.5
2020年 1 月末	11,823		2.9			99.9
2 月末	11,819		2.9			99.7
3 月末	11,574		0.8			98.3
4 月末	10,538		△8.3			101.9
5 月末	10,766		△6.3			96.0
6 月末	11,105		△3.3			95.5
7 月末	11,309		△1.5			97.3
(期 末) 2020年 8 月26日	11,636		1.3			95.7
	11,798		2.7			98.5

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2019年8月27日から2020年8月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	11,487円
期 末	11,798円 (分配金0円(税引前)込み)
騰 落 率	+2.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因(2019年8月27日から2020年8月26日まで)

当ファンドは上場投資信託証券(ETF)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資しました。運用にあたっては、市場のリスク選好状況を定量的に捉え、機動的な資産配分を行っております。債券部分は、米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行い、株式・リート部分は、原則として対円での為替ヘッジを行っておりません。

上昇要因

- 期を通してみれば、日本を含む主要先進国、新興国の株式市場が上昇したこと
- 期を通してみれば、主要通貨に対して円安が進行したこと

下落要因

- 期を通してみれば、グローバルリート市場が下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
i シェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF	先進国債券(米国)	17.0%
i シェアーズ 世界国債(除く米国) ETF	先進国債券(米国以外)	17.0%
i シェアーズ J. P. モルガン・米ドル建てエマーゼィング・マーケット債券 ETF	新興国債券	34.2%
TOP I X 連動型上場投資信託	国内株式	7.7%
i シェアーズ M S C I コクサイ ETF	先進国株式(除く日本)	7.6%
バンガード・FTSE・エマーゼィング・マーケットETF	新興国株式	7.5%
バンガード・リアル エステイト ETF	グローバルリート(米国)	3.7%
i シェアーズ 先進国(除く米国) REIT ETF	グローバルリート(米国以外)	3.8%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2019年8月27日から2020年8月26日まで)

期を通してみると、日本を含む主要先進国、新興国株式市場はそれぞれ上昇しました。債券市場では、先進国債券市場では米国で利回りが低下する一方で、欧州や日本では利回りが上昇しました。新興国債券市場は上昇しました。グローバルリート市場は下落しました。外国為替市場では、米ドルやユーロなど主要通貨に対して円が下落しました。新興国通貨は、円に対して総じて下落しました。

株式市場

●先進国外国株式

先進国株式は、期初から2020年2月中旬にかけては、米中貿易協議の進展などを背景に、株価は底堅く推移しました。その後、2月下旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念等を背景に、株価は大幅に下落しました。その後、期末にかけては、世界の主要国、中央銀行の政策対応を好感し、上昇傾向で推移する展開となりました。

当期のMSCIコクサイインデックス(配当込み、米ドルベース)は、期首に比べて18.9%上昇しました。

●国内株式

国内株式は、期初から2020年1月中旬にかけては、米中貿易交渉の進展など(12月には貿易協議の第一段階の合意が発表されました)を背景に、株価は上昇傾向で推移しました。その後、2月中旬から3月中旬にかけ

ては、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念等から、大幅に下落しました。期末にかけては、ウイルスの感染拡大に伴う景気後退懸念に対し、世界主要国政府、中央銀行が矢継ぎ早に財政、金融政策を打ち出したことを好感し、株価は上昇傾向で推移する展開となりました。

当期のTOPIX(東証株価指数、配当込み)は、期首に比べて12.8%上昇しました。

●新興国株式

新興国株式は、期初から2020年1月中旬にかけては、米中貿易交渉の進展等を背景にグローバルに株価が上昇する展開となり、新興国株式も底堅く推移しました。2月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感等を背景にリスク回避的な動きが強まり、新興国株式市場は大幅に下落しました。3月下旬から期末にかけては、先進国株式に連れて底堅く推移する展開となりました。

当期のMSCIエマージング・マーケッ

ト・インデックス(米ドルベース)は、期首に比べて14.5%上昇しました。

債券市場

●先進国外国債券

米国国債利回りは、期初から2020年1月中旬にかけては、米中貿易協議の進展を受けてリスク回避姿勢が後退し、債券利回りは上昇する展開となりました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や3月に入ってのFRB(米連邦準備制度理事会)の緊急利下げ等を受けて、3月中旬にかけて債券利回りは大きく低下しました。その後は期末まで概ねもみあいでも推移しました。

欧州では、期初から2020年1月中旬にかけて、米中貿易協議の進展や、英のEU離脱にめどがついたことなど(1月末に正式に離脱しました)を受け、ドイツ国債利回りは上昇する動きとなりました。その後は3月上旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念やFRBによる緊急利下げ等を背景に債券利回りが低下しました。3月中旬には現金化目的の債券売りが強まり利回りが急上昇するなど、値動きの荒い相場展開となりました。4月以降は概ねもみ合いでも推移しました。

当期の米国10年国債利回りは期首1.54%から期末には0.68%に低下しました。また、ドイツ10年国債利回りは期首-0.68%から期末には-0.43%に上昇しました。

●国内債券

日本の長期債利回り(10年国債利回り)は期初から2020年1月中旬まで、米中貿易協議の進展を受けた米欧債券利回りの上昇に押される形で、上昇基調で推移しました。その後は、3月上旬にかけて新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念等から債券利回りが低下しました。3月中旬には世界的な金融市場の混乱を受けて現金化目的の売りが債券市場にも波及し、利回りが急上昇するなど、値動きの荒い相場展開となりました。4月以降は概ねもみあいでも推移しました。

当期の10年国債利回りは期首-0.26%から期末には0.05%に上昇しました。

●新興国債券

期初から2020年2月にかけては、新興国債券は底堅く推移しました。3月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感等を背景にリスク回避的な動きが強まり、中旬にかけて大幅に下落しました。その後、期末にかけては、新興国を含めた世界の主要国、中央銀行の政策対応を好感し、上昇する展開となりました。

当期のJPモルガンEMBIグローバル・トータルリターンインデックス(米ドルベース)は、期首に比べて4.5%上昇しました。

リート市場

●グローバルリート

グローバルリート市場は、世界的に金融緩和環境が続く中、期初から2020年2月中旬まで、相対的に利回りの高いリート市場への底堅い資金フローなどを背景に堅調に推移しました。2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感等を背景に世界的に株価が下落するなどリスク回避的な動きが強まり、3月中旬にかけてグローバルリート市場も大幅に下落しました。3月下旬以降は、世界の主要国、中央銀行の政策対応を好感し、期末にかけて上昇しました。

当期のMSCI米国REITインデックス(米ドルベース)は、期首に比べて14.4%下落しました。

外国為替

●米ドル・円

米ドル・円は、期初から2020年2月中旬まで、米国株価の上昇等も背景に、米ドルはじり高の展開となりました。その後は3月上旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念やFRBによる緊急利下げの動きなどを背景に、米ドルは大幅に下落しました。3月中旬以降は、米ドル資金需要の高まりを背景に、米ドルが急上昇するなど、非常に値動きの荒い展開となりました。4月から期末にかけては米ドルは上値の重い相場

展開が続きました。

当期の米ドル・円は、期首105円08銭から期末106円46銭と1円38銭の米ドル高・円安となりました。

●ユーロ・円

ユーロ・円は、期初から1月中旬にかけてはユーロがじり高の展開となりました。しかし、その後は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、リスク回避的な動きが強まると5月上旬にかけてユーロが下落しました。5月中旬から期末にかけては、欧州復興基金の設立の動きを好感し(7月に正式に合意されました)、ユーロが上昇しました。

当期のユーロ・円は、期首117円07銭から期末125円95銭と8円88銭のユーロ高・円安となりました。

●新興国通貨

新興国通貨は、期初から2020年2月中旬にかけては総じて横ばいで推移しました。その後は新型コロナウイルスに対する警戒感などを背景に5月上旬にかけて総じて下落しました。その後は期末まで概ねもみあい推移しました。

当期のブラジルリアル・円は、期首25円48銭から期末19円32銭と6円16銭のブラジルリアル安・円高、トルコリラ・円は期首18円04銭から期末14円40銭へと3円64銭のトルコリラ安・円高となりました。

ポートフォリオについて (2019年8月27日から2020年8月26日まで)

当期の資産配分方針の変更時期については以下の通りです。

期初は、株式と債券の選好度は中立的な局面との判断から、債券の組入比率を80%、株式・リートの組入比率を20%とする資産配分としました。

市場のリスク選好状況を判断する上で使用するリスク態度指数は、2019年9月以降、米中通商協議に対する不透明感の後退や、企業業績の底打ち見通しの台頭を受けて、上昇しました。10月下旬には、上昇基調が定着したことから、市場は株式に対する強気局面に入ったと判断し、債券の組入比率を70%へ引き下げ、株式・リートの組入比率を30%へ引き上げました。

その後、リスク態度指数はもみ合い推移となりましたが、2020年2月に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念を背景に、水準を切り下げました。そのため、市場は株式に対する弱気局面へ向かいつつあると判断し、債券の組入比率を80%、株式・リートの組入比率を20%とする資産配分へ変更

しました。その後も、リスク態度指数は低位での推移が継続したため、4月上旬には、債券の組入比率を90%へ引き上げ、株式・リートの組入比率を10%へ引き下げました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、各国政府は積極的な政策対応を実施したことで、4月以降、市場は底打ちを探る動きとなりました。リスク態度指数は、5月下旬より経済活動再開への期待を背景に、上昇の動きが鮮明になりました。6月下旬には、市場が株式に対する強気局面へ向かいつつあると判断し、債券の組入比率を80%、株式・リートの組入比率を20%とする資産配分へ変更しました。その後も、米欧の経済指標の底打ちや、企業業績見通しの改善が続く中で、リスク態度指数の上昇基調が定着したため、8月上旬には、株式に対する強気局面に入ったと判断し、債券の組入比率を70%へ引き下げ、株式・リートの組入比率を30%へ引き上げました。その後は同資産配分を期末まで維持しました。

ベンチマークとの差異について (2019年8月27日から2020年8月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2019年8月27日から2020年8月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第7期
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,368

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

当期の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

上場投資信託証券(E T F)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

リスク態度指数は、主要国の緩和的な金融

政策と積極的な財政政策が市場をサポートする中、高位でもみ合い推移しています。当面は債券の組入比率を70%、株式・リートの組入比率を30%とする資産配分を維持する予定です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年8月27日から2020年8月26日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	73円 (35) (34) (4)	0.638% (0.308) (0.297) (0.033)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	9 (9)	0.082 (0.082)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	4 (3) (1) (0)	0.032 (0.025) (0.007) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	86	0.753	

期中の平均基準価額は11,410円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

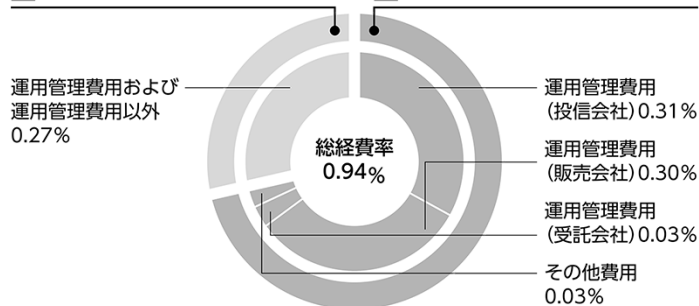
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「組入れ投資信託証券の内容」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）

② 投資先ファンドの費用 0.27% ① 当ファンドの費用 0.67%



総経費率 (① + ②) 0.94%

① 当ファンドの費用の比率 0.67%

② 投資先ファンドの費用の比率 0.27%

E T F バランス・ファンド

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は0.94%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2019年8月27日から2020年8月26日まで）

投資信託証券

		買 付		売 付		
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額	
国内	TOPIX連動型上場投資信託	40,330	66,473千円	31,360	49,959千円	
合 計		40,330	66,473	31,360	49,959	
外国	アメリカ	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	2,120千米ドル	6,925	792千米ドル	
		ISHARES INTERNATIONAL TREASURY BOND ETF	6,950	344	17,275	884
		ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	8,430	597	6,865	458
		ISHARES JP MORGAN EM BOND ETF	8,565	899	16,440	1,856
		ISHARES INTERNATIONAL DEVELOPED REALESTA	12,050	310	7,440	200
		VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	14,170	592	11,335	444
		VANGUARD REAL ESTATE ETF	3,680	305	2,580	227
小 計		55,965	3,294	68,860	4,863	

※金額は受渡し代金。

※単位未満は四捨五入。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等（2019年8月27日から2020年8月26日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
投資信託証券	百万円 422	百万円 -	% -	百万円 576	百万円 4	% 0.7

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料総額	687千円
(b) うち利害関係人への支払額	3千円
(c) (b) / (a)	0.5%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、S M B C 日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2019年8月27日から2020年8月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年8月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額	
TOPIX 連動型 上場 投資 信託	29,940	38,910	65,096	千円	%
合 計	29,940	38,910	65,096	千円	7.7

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	16,275	11,470	1,357	144,553	17.0
ISHARES INTERNATIONAL TREASURY BOND ETF	35,970	25,645	1,361	144,944	17.0
ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	6,410	7,975	608	64,822	7.6
ISHARES JP MORGAN EM BOND ETF	31,995	24,120	2,733	291,010	34.2
ISHARES INTERNATIONAL DEVELOPED REALESTA	7,625	12,235	301	32,094	3.8
VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	10,580	13,415	601	64,010	7.5
VANGUARD REAL ESTATE ETF	2,505	3,605	294	31,320	3.7
合 計	111,360	98,465	7,258	772,756	90.8

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2020年8月26日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	837,853	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	23,928	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	861,781	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。
※期末における外貨建資産(780,607千円)の投資信託財産総額(861,781千円)に対する比率は90.6%です。
※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=106.46円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年8月26日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,441,930,438円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	23,928,398
投資信託受益証券(評価額)	837,853,080
未 収 入 金	580,148,960
(B) 負 債	591,163,430
未 払 金	585,097,160
未 払 解 約 金	3,513,827
未 払 信 託 報 酬	2,526,119
未 払 利 息	46
そ の 他 未 払 費 用	26,278
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	850,767,008
元 本	721,118,857
次 期 繰 越 損 益 金	129,648,151
(D) 受 益 権 総 口 数	721,118,857口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	11,798円

※当期における期首元本額850,191,404円、期中追加設定元本額154,470,324円、期中一部解約元本額283,542,871円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年8月27日 至2020年8月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	19,331,482円
受 取 配 当 金	19,332,533
受 取 利 息	4,648
支 払 利 息	△ 5,699
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,419,421
売 買 損 益	114,503,988
売 買 損 益	△104,084,567
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,573,774
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	24,177,129
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	5,114,103
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	100,356,919
(配 当 等 相 当 額)	(116,751,541)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 16,394,622)
(G) 計 (D + E + F)	129,648,151
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	129,648,151
追 加 信 託 差 損 益 金	100,356,919
(配 当 等 相 当 額)	(116,751,541)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 16,394,622)
分 配 準 備 積 立 金	54,056,577
繰 越 損 益 金	△ 24,765,345

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(15,709,644円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(116,751,541円)および分配準備積立金(38,346,933円)より分配可能額は170,808,118円(1万口当たり2,368円)ですが、分配は行っておりません。

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当 期
	— 円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

ファンド名	i シェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
投資運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要運用対象	ブルームバーグ・バークレイズ・米国総合インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄の債券等
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します
取引通貨	米ドル
管理費用	年0.05%
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2020年2月29日）

	銘柄名	クーポン	満期日	組入比率
1	Uniform Mortgage-Backed Securities	3.00%	2050/3/1	1.1%
2	Uniform Mortgage-Backed Securities	3.00%	2050/3/1	0.9%
3	Government National Mortgage Association	3.00%	2050/3/1	0.7%
4	U. S. Treasury Note/Bond	2.50%	2024/5/15	0.6%
5	U. S. Treasury Note/Bond	1.50%	2026/8/15	0.6%
6	U. S. Treasury Note/Bond	1.13%	2021/7/31	0.5%
7	U. S. Treasury Note/Bond	1.88%	2022/1/31	0.5%
8	U. S. Treasury Note/Bond	6.25%	2029/2/15	0.5%
9	U. S. Treasury Note/Bond	2.50%	2046/2/15	0.5%
10	Uniform Mortgage-Backed Securities	4.00%	2050/3/1	0.5%
全銘柄数			7,978銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合。

■ 費用明細（2019年3月1日から2020年2月29日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.05%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

E T F バランス・ファンド

ファンド名	i シェアーズ 世界国債 (除く米国) E T F
形態	米国籍外国投資信託 (米ドル建て)
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要投資対象	S & P インターナショナル・ソブリン・ボンド・インデックス (除く米国) (ベンチマーク) の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.35%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄 (基準日: 2019年10月31日)

	銘柄名	種類	国	クーポン	償還日	比率
1	DENMARK (KINGDOM OF)	財務省証券	デンマーク	4.50%	2039/11/15	1.3%
2	IRELAND (REPUBLIC OF)	財務省証券	アイルランド	5.40%	2025/3/13	0.6%
3	AUSTRIA (REPUBLIC OF)	財務省証券	オーストリア	4.15%	2037/3/15	0.5%
4	PORTUGAL (REPUBLIC OF)	財務省証券	ポルトガル	5.65%	2024/2/15	0.5%
5	PORTUGAL (REPUBLIC OF)	財務省証券	ポルトガル	4.10%	2037/4/15	0.5%
6	PORTUGAL (REPUBLIC OF)	財務省証券	ポルトガル	4.95%	2023/10/25	0.5%
7	PORTUGAL (REPUBLIC OF)	財務省証券	ポルトガル	2.88%	2025/10/15	0.5%
8	DENMARK (KINGDOM OF)	財務省証券	デンマーク	0.50%	2027/11/15	0.5%
9	JAPAN (GOVERNMENT OF) 10YR #355	財務省証券	日本	0.10%	2029/6/20	0.4%
10	IRELAND (REPUBLIC OF) RegS	財務省証券	アイルランド	2.40%	2030/5/15	0.4%
全銘柄数			679銘柄			

■ 費用明細 (2018年11月1日から2019年10月31日まで)

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.35%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

E T F バランス・ファンド

ファンド名	i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要投資対象	J.P. モルガン E M B I グローバル・コア・インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.39%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2019年10月31日）

	銘 柄 名	国	クーポン	償 還 日	比 率
1	KUWAIT STATE OF (GOVERNMENT) MTN RegS	クウェート	3.5%	2027/3/20	0.9%
2	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF)	ウルグアイ	5.1%	2050/6/18	0.8%
3	RUSSIAN FEDERATION RegS	ロシア連邦	5.25%	2047/6/23	0.7%
4	QATAR (STATE OF) RegS	カタール	5.10%	2048/4/23	0.7%
5	QATAR (STATE OF) RegS	カタール	4.82%	2049/3/14	0.7%
6	COLOMBIA REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	コロンビア	5%	2045/6/15	0.7%
7	PERU (REPUBLIC OF)	ペルー	5.6%	2050/11/18	0.7%
8	PERU (REPUBLIC OF)	ペルー	8.75%	2033/11/21	0.7%
9	ABU DHABI (EMIRATE OF) RegS	アラブ首長国連邦	3.13%	2027/10/11	0.6%
10	UKRAINE REPUBLIC OF (GOVERNMENT) RegS	ウクライナ	7.4%	2032/9/25	0.6%
全銘柄数			475銘柄		

■ 費用明細（2018年11月1日から2019年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.39%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

E T F バランス・ファンド

ファンド名	TOPIX連動型上場投資信託
形態	国内籍投資信託（円建て）
運用会社	野村アセットマネジメント株式会社
主要投資対象	東証株価指数（TOPIX）（ベンチマーク）に採用されているまたは採用が決定された銘柄
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	日本円
管理報酬等	年0.121%（税抜き0.11%）
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄

（基準日：2019年7月10日）

	銘柄名	組入比率
1	トヨタ自動車	3.4%
2	ソフトバンクグループ	1.9%
3	ソニー	1.8%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.6%
5	日本電信電話	1.5%
6	武田薬品工業	1.5%
7	キーエンス	1.4%
8	三井住友フィナンシャルグループ	1.2%
9	本田技研工業	1.1%
10	リクルートホールディングス	1.0%
	全銘柄数	2,140銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

■ 損益及び剰余金計算書

科目	第18期 (2018年7月11日～2019年7月10日)	
	金額（円）	
営業収益		
受取配当金		193,247,636,923
有価証券売買等損益	△	706,164,307,710
派生商品取引等損益	△	15,571,067,927
その他収益		10,994,020,083
営業収益合計	△	517,493,718,631
営業費用		
支払利息		△253,841,911
受託者報酬		4,172,137,734
委託者報酬		7,830,305,233
その他費用		1,236,175,291
営業費用合計		12,984,776,347
営業利益又は営業損失（△）	△	530,478,494,978
経常利益又は経常損失（△）	△	530,478,494,978
当期純利益又は当期純損失（△）	△	530,478,494,978
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換に伴う当期純損失金額の分配額（△）		—
期首剰余金又は期首欠損金（△）		2,222,486,147,792
剰余金増加額又は欠損金減少額		644,589,676,307
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		644,589,676,307
剰余金減少額又は欠損金増加額		74,124,649,820
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		74,124,649,820
分配金		190,989,369,350
期末剰余金又は期末欠損金（△）		2,071,483,309,951

E T F バランス・ファンド

ファンド名	i シェアーズ M S C I コクサイ E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要投資対象	M S C I コクサイ・インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.25%
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2019年7月31日）

	銘柄名	業種	リスク対象国	組入比率
1	APPLE INC	情報技術	米国	2.6%
2	MICROSOFT CORP	情報技術	米国	2.6%
3	AMAZON COM INC	一般消費財・サービス	米国	2.0%
4	FACEBOOK CLASS A INC	情報技術	米国	1.2%
5	ALPHABET INC CLASS C	情報技術	米国	1.0%
6	JPMORGAN CHASE & CO	金融	米国	1.0%
7	ALPHABET INC CLASS A	情報技術	米国	1.0%
8	JOHNSON & JOHNSON	ヘルスケア	米国	0.9%
9	NESTLE SA	生活必需品	スイス	0.8%
10	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	米国	0.8%
全銘柄数			1,328銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合

■ 費用明細（2018年8月1日から2019年7月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.25%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

E T F バランス・ファンド

ファンド名	バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要投資対象	FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.10%
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2019年10月31日）

	銘 柄 名	組 入 比 率
1	Alibaba Group Holding Ltd. ADR	4.2%
2	Tencent Holdings Ltd.	3.9%
3	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	2.5%
4	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd. ADR	1.6%
5	China Construction Bank Corp.	1.2%
6	Reliance Industries Ltd.	1.1%
7	Ping An Insurance Group Co. of China Ltd.	1.1%
8	Naspers Ltd.	1.0%
9	Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	1.0%
10	Housing Development Finance Corp. Ltd.	0.9%
	全銘柄数	5,074銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

■ 費用明細（2018年11月1日から2019年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.10%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

E T F バランス・ファンド

ファンド名	バンガード・リアル エステイト E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
投資運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要運用対象	M S C I U S 投資市場不動産25/50インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します
取引通貨	米ドル
管理費用	年0.12%
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2020年1月31日）

	銘 柄 名	組 入 比 率
1	American Tower Corp.	7.0%
2	Crown Castle International Corp.	4.3%
3	Prologis Inc.	4.0%
4	Equinix Inc.	3.4%
5	Simon Property Group Inc.	2.8%
6	Public Storage	2.4%
7	Welltower Inc.	2.4%
8	Equity Residential	2.1%
9	AvalonBay Communities Inc.	2.1%
10	SBA Communications Corp.	1.9%
全銘柄数		184銘柄

※比率は、ポートフォリオに対する割合です。

■ 費用明細（2019年2月1日から2020年1月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.12%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

E T F バランス・ファンド

ファンド名	i シェアーズ 先進国 (除く米国) R E I T E T F
形態	米国籍外国投資信託 (米ドル建て)
投資運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要運用対象	FTSE EPRA/NAREIT 先進国 (除く米国) 不動産インデックス (ベンチマーク) の構成銘柄
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します
取引通貨	米ドル
管理費用	年0.48%
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄 (基準日: 2020年4月30日)

	銘	柄	名	組入比率
1	Sun Hung Kai Properties Ltd			3.2%
2	Mitsubishi Estate Co. Ltd			3.2%
3	Link REIT			3.1%
4	Mitsui Fudosan Co. Ltd			3.0%
5	CK Asset Holdings Ltd			2.8%
6	Deutsche Wohnen SE			2.5%
7	Segro PLC			1.9%
8	Sumitomo Realty & Development Co. Ltd			1.8%
9	Scentre Group			1.4%
10	Unibail-Rodamco-Westfield			1.3%
全銘柄数				213銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合。

■ 費用明細 (2019年5月1日から2020年4月30日まで)

項	目	比	率
エクスペンスレシオ			0.48%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

- ・ブルームバーグ・パークレイズ・米国総合インデックスはBloomberg、S & P インターナショナル・ソブリン・ボンド・インデックス (除く米国) はS&Pダウ・ジョーンズ・インディシーズ・エルエルシー、JPモルガンEMBIグローバル・コア・インデックスはJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシー、東証株価指数 (TOPIX) は株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI US投資市場不動産25/50インデックスはMSCI Inc.、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ (含む中国A株) インデックスおよびFTSE EPRA/NAREIT 先進国 (除く米国) 不動産インデックスはFTSE インターナショナル・リミテッドが、それぞれ公表している指数で各社の知的財産です。
- ・指数を公表する各社は当ファンドの運用と何ら関係ありません。